

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年2月7日

上場会社名 ニチアス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5393 URL https://www.nichias.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 俊之
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 中田 公敬 (TEL) (03) 4413-1111
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	159,820	15.3	20,071	62.6	22,080	68.4	15,978	88.9
2021年3月期第3四半期	138,671	△9.1	12,345	△17.3	13,112	△15.2	8,458	△19.8

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 18,894百万円(74.9%) 2021年3月期第3四半期 10,805百万円(△5.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	240.88	—
2021年3月期第3四半期	127.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	235,496	150,322	63.3
2021年3月期	219,602	136,450	61.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 149,156百万円 2021年3月期 135,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	38.00	—	40.00	78.00
2022年3月期	—	42.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	44.00	86.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※配当予想の修正については、本日別途公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,500	9.7	26,000	32.5	28,000	31.6	19,000	77.3	286.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の修正については、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	67,811,917株	2021年3月期	67,811,917株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,479,073株	2021年3月期	1,477,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	66,333,363株	2021年3月期3Q	66,334,854株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、日本の景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに弱さがみられます。製造業では設備投資や生産は持ち直しに足踏みがみられ、輸出はおおむね横ばいとなっております。海外の景気は、米国では持ち直しており、新興国では持ち直しの動きがみられる一方、中国では回復テンポがこのところ鈍化しております。

このような状況の中、当社グループにおいては、半導体製造装置向け製品の需要が高水準で推移したことに加え、自動車部品の需要が新型コロナウイルス感染症の流行前の水準まで回復したことにより、当社グループの売上高は、前年同四半期に対し15.3%増の1,598億20百万円となりました。

利益面では、営業利益が200億71百万円、経常利益が220億80百万円、親会社株主に属する四半期純利益が159億78百万円となり前年同四半期と比較し、それぞれ62.6%、68.4%、88.9%の増加となりました。

なお、第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用したことに伴い、当該会計基準適用前と比べ当第3四半期連結累計期間の売上高が42億16百万円増加し、営業利益及び経常利益がそれぞれ5億44百万円増加しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)および(セグメント情報等) セグメント情報 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別売上高の状況は以下のとおりです。

プラント向け工事・販売については、収益認識会計基準等の適用に伴い工事契約に係る収益認識の方法を変更したことにより、売上高は前年同四半期に対し0.3%増の428億80百万円となりました。

工業製品については、電子部品・半導体関連市場の回復により、ふっ素樹脂製品、無機断熱材の需要が堅調に推移したことに加え、中国市場での環境製品の需要が高水準で推移したため、売上高は前年同四半期に対し11.3%増の357億37百万円となりました。

高機能製品については、半導体の需要が好調に推移したため、売上高は前年同四半期に対し52.6%増の263億29百万円となりました。

自動車部品については、前年同四半期に新型コロナウイルス感染症の影響による世界的な需要減がありましたが、前年第3四半期以降、国内外の需要は回復しているため、売上高は前年同四半期に対し21.9%増の333億84百万円となりました。

建材については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う着工の遅れや工期遅延の影響が緩和され、フロア工事の需要が回復したため、売上高は前年同四半期に対し12.1%増の214億88百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が46億81百万円、電子記録債権が24億30百万円、土地が21億54百万円、原材料及び貯蔵品が21億5百万円、商品及び製品が20億69百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して158億93百万円増加の2,354億96百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、賞与引当金が8億90百万円減少しましたが、電子記録債務が14億31百万円、流動負債のその他に含まれる預り金等が13億38百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して20億22百万円増加の851億74百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が109億67百万円、その他有価証券評価差額金が15億32百万円、為替換算調整勘定が11億57百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して138億71百万円増加の1,503億22百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して44億76百万円増加し440億66百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は158億80百万円（前年同四半期は98億16百万円の獲得）となりました。

これは、法人税等の支払額69億45百万円、棚卸資産の増加39億53百万円等により資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益221億38百万円、減価償却費48億33百万円および仕入債務の増加11億64百万円等により資金が増加したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は61億40百万円（前年同四半期は44億25百万円の支出）となりました。

これは、関係会社の清算による収入15億47百万円等により資金が増加しましたが、有形固定資産の取得による支出72億50百万円等により資金が減少したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は59億1百万円（前年同四半期は55億20百万円の支出）となりました。

これは、配当金の支払額54億11百万円等により資金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2021年10月18日に公表いたしました2022年3月期の通期の業績予想を修正しております。詳細は本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,799	44,480
受取手形及び売掛金	29,589	31,051
電子記録債権	10,508	12,939
完成工事未収入金	18,869	20,738
商品及び製品	15,401	17,470
仕掛品	2,823	3,364
原材料及び貯蔵品	9,591	11,696
未成工事支出金	5,851	1,375
その他	3,229	3,281
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	135,645	146,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,520	62,373
減価償却累計額及び減損損失累計額	△34,880	△36,144
建物及び構築物（純額）	24,640	26,229
機械装置及び運搬具	78,226	82,007
減価償却累計額及び減損損失累計額	△66,161	△68,643
機械装置及び運搬具（純額）	12,064	13,363
土地	14,118	16,273
リース資産	372	363
減価償却累計額	△251	△300
リース資産（純額）	120	62
建設仮勘定	4,885	3,641
その他	10,500	11,452
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,940	△9,445
その他（純額）	1,560	2,007
有形固定資産合計	57,391	61,578
無形固定資産		
ソフトウェア	761	786
その他	574	535
無形固定資産合計	1,335	1,321
投資その他の資産		
投資有価証券	18,379	19,418
退職給付に係る資産	1,635	1,663
繰延税金資産	1,301	1,260
その他	3,945	3,904
貸倒引当金	△30	△29
投資その他の資産合計	25,230	26,217
固定資産合計	83,957	89,117
資産合計	219,602	235,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,184	19,630
電子記録債務	12,240	13,672
1年内償還予定の社債	400	-
短期借入金	6,805	8,065
未払金	4,887	5,755
未払法人税等	3,750	2,948
未成工事受入金	1,188	327
賞与引当金	3,175	2,285
その他	4,224	5,563
流動負債合計	55,857	58,248
固定負債		
社債	13,000	13,000
長期借入金	3,912	2,621
繰延税金負債	2,264	3,221
退職給付に係る負債	4,352	4,448
訴訟損失引当金	837	741
その他	2,928	2,892
固定負債合計	27,294	26,926
負債合計	83,151	85,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,128	12,128
資本剰余金	13,857	13,857
利益剰余金	106,880	117,847
自己株式	△4,056	△4,059
株主資本合計	128,810	139,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,922	10,454
為替換算調整勘定	△1,027	129
退職給付に係る調整累計額	△1,275	△1,201
その他の包括利益累計額合計	6,618	9,382
非支配株主持分	1,021	1,165
純資産合計	136,450	150,322
負債純資産合計	219,602	235,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高		
商品及び製品売上高	99,776	118,009
完成工事高	38,894	41,810
売上高合計	138,671	159,820
売上原価		
商品及び製品売上原価	73,897	84,572
完成工事原価	32,899	35,328
売上原価合計	106,797	119,900
売上総利益	31,873	39,919
販売費及び一般管理費		
販売費	6,074	6,101
一般管理費	13,453	13,746
販売費及び一般管理費合計	19,527	19,847
営業利益	12,345	20,071
営業外収益		
受取利息	68	58
受取配当金	368	412
為替差益	-	810
受取賃貸料	388	418
持分法による投資利益	38	65
雇用調整助成金等	288	127
投資有価証券売却益	208	-
その他	365	383
営業外収益合計	1,727	2,276
営業外費用		
支払利息	121	105
為替差損	607	-
その他	230	162
営業外費用合計	960	268
経常利益	13,112	22,080
特別利益		
固定資産売却益	384	6
補助金収入	135	-
関係会社清算益	-	311
特別利益合計	519	317
特別損失		
固定資産除売却損	112	114
固定資産圧縮損	45	-
訴訟損失引当金繰入額	590	32
新型コロナウイルス感染症による損失	103	39
災害による損失	-	73
特別損失合計	852	259
税金等調整前四半期純利益	12,779	22,138
法人税、住民税及び事業税	3,644	5,982
法人税等調整額	623	74
法人税等合計	4,267	6,057
四半期純利益	8,511	16,081
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,458	15,978

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	8,511	16,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,812	1,532
為替換算調整勘定	△764	1,206
退職給付に係る調整額	244	73
その他の包括利益合計	2,293	2,813
四半期包括利益	10,805	18,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,761	18,741
非支配株主に係る四半期包括利益	44	153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,779	22,138
減価償却費	4,821	4,833
有形固定資産売却損益(△は益)	△383	△6
関係会社清算損益(△は益)	-	△311
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	73	96
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,182	△895
受取利息及び受取配当金	△436	△471
支払利息	121	105
為替差損益(△は益)	460	△633
売上債権の増減額(△は増加)	2,413	△493
棚卸資産の増減額(△は増加)	△774	△3,953
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△3,308	△192
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,232	1,164
未払金の増減額(△は減少)	△1,081	△27
未払費用の増減額(△は減少)	△92	△45
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,874	84
投資有価証券売却損益(△は益)	△208	-
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	583	△95
固定資産圧縮損	45	-
補助金収入	△135	-
雇用調整助成金等	△288	△127
新型コロナウイルス感染症による損失	103	39
災害による損失	-	73
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△97	△28
その他	972	1,249
小計	15,028	22,504
利息及び配当金の受取額	436	471
利息の支払額	△119	△100
補助金の受取額	135	23
雇用調整助成金等の受取額	273	26
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△55	△39
災害による損失の支払額	-	△73
法人税等の支払額	△5,950	△6,945
法人税等の還付額	69	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,816	15,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	662	△208
有形固定資産の取得による支出	△5,591	△7,250
有形固定資産の売却による収入	473	32
無形固定資産の取得による支出	△186	△197
投資有価証券の売却による収入	216	-
貸付けによる支出	△3	△34
貸付金の回収による収入	3	3
関係会社の清算による収入	-	1,547
その他	0	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,425	△6,140

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	116	△40
長期借入れによる収入	500	118
長期借入金の返済による支出	△500	-
社債の償還による支出	△400	△400
配当金の支払額	△5,008	△5,411
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△3
非支配株主への配当金の支払額	△8	△9
その他	△218	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,520	△5,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	△230	637
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△360	4,476
現金及び現金同等物の期首残高	33,108	39,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,747	44,066

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる主な変更点は以下の通りです。

・ 工事契約に係る収益認識

従来、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を採用し、その他の工事については工事完成基準を採用していましたが、少額かつごく短期間の工事を除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,216百万円増加し、売上原価は4,059百万円増加し、販売費及び一般管理費は387百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ544百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は428百万円増加しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	42,733	32,123	17,258	27,383	19,170	138,671	—	138,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,320	—	—	—	6,320	△6,320	—
計	42,733	38,444	17,258	27,383	19,170	144,991	△6,320	138,671
セグメント利益又は 損失(△)	4,778	4,385	2,257	994	△69	12,345	—	12,345

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
報告事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	42,880	35,737	26,329	33,384	21,488	159,820	—	159,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,076	—	—	—	6,076	△6,076	—
計	42,880	41,814	26,329	33,384	21,488	165,896	△6,076	159,820
セグメント利益	4,173	6,572	5,764	3,221	339	20,071	—	20,071

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「プラント向け工事・販売」の売上高は2,952百万円増加、セグメント利益は405百万円増加し、「工業製品」の売上高は144百万円減少し、「高機能製品」の売上高は88百万円減少し、「建材」の売上高は1,496百万円増加、セグメント利益は139百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告事項はありません。

3. 補足説明資料

ニチアス株式会社(5393) 2022年3月期 第3四半期決算短信

2022年3月期 第3四半期決算発表 補足資料

(1) 連結主要数値の推移

(単位:百万円)

	第3四半期累計			通期					
	2021年3月期	2022年3月期		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
	第3四半期累計実績	第3四半期累計実績	前期比増減率	実績	実績	実績	実績	予想	前期比増減率
売上高	138,671	159,820	15.3%	197,495	215,495	208,876	196,372	215,500	9.7%
営業利益	12,345	20,071	62.6%	21,357	22,629	20,427	19,616	26,000	32.5%
営業利益率(%)	8.9%	12.6%		10.8%	10.5%	9.8%	10.0%	12.1%	
経常利益	13,112	22,080	68.4%	21,804	23,171	21,633	21,279	28,000	31.6%
経常利益率(%)	9.5%	13.8%		11.0%	10.8%	10.4%	10.8%	13.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	8,458	15,978	88.9%	14,956	15,861	14,674	10,715	19,000	77.3%
当期純利益率(%)	6.1%	10.0%		7.6%	7.4%	7.0%	5.5%	8.8%	
1株当たり当期純利益(円)	127.51	240.88	88.9%	222.73	238.70	221.21	161.53	286.43	77.3%
総資産	212,125	235,496	11.0%	196,459	206,426	208,076	219,602	—	—
純資産	132,987	150,322	13.0%	109,705	117,774	127,233	136,450	—	—
自己資本	132,015	149,156	13.0%	109,195	116,786	126,297	135,429	—	—
自己資本比率(%)	62.2%	63.3%		55.6%	56.6%	60.7%	61.7%	—	—
有利子負債	25,738	25,431	△ 1.2%	23,818	26,065	26,077	25,861	—	—
有利子負債依存度(%)	12.1%	10.8%		12.1%	12.6%	12.5%	11.8%	—	—
設備投資額	5,569	8,182	46.9%	12,772	12,816	8,978	7,703	11,500	49.3%
減価償却費	4,821	4,833	0.2%	4,800	5,760	6,274	6,536	6,300	△ 3.6%
研究開発費	4,588	4,105	△ 10.5%	5,692	5,976	6,132	6,168	6,000	△ 2.7%

※1 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2019年度3月期の期首から適用しており、2018年3月期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

※2 当社は2018年10月1日をもって普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※3 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第3四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

(2) 四半期連結業績推移

(単位:百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	前期比増減率
売上高	43,048	46,322	49,300	57,700	52,272	51,253	56,294	14.2%
営業利益	3,803	3,333	5,208	7,270	6,600	6,071	7,399	42.1%
営業利益率(%)	8.8%	7.2%	10.6%	12.6%	12.6%	11.8%	13.1%	
経常利益	3,320	4,380	5,412	8,166	7,208	6,686	8,184	51.2%
経常利益率(%)	7.7%	9.5%	11.0%	14.2%	13.8%	13.0%	14.5%	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,829	2,836	3,792	2,257	5,416	4,832	5,728	51.1%
当期純利益率(%)	4.3%	6.1%	7.7%	3.9%	10.4%	9.4%	10.2%	

※本資料に掲載されている現在の計画、見通しなどのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、

これらは現在入手可能な情報から得られたデータを会社の判断に基づいて示しております。

従って、実際の業績は様々な要因により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。